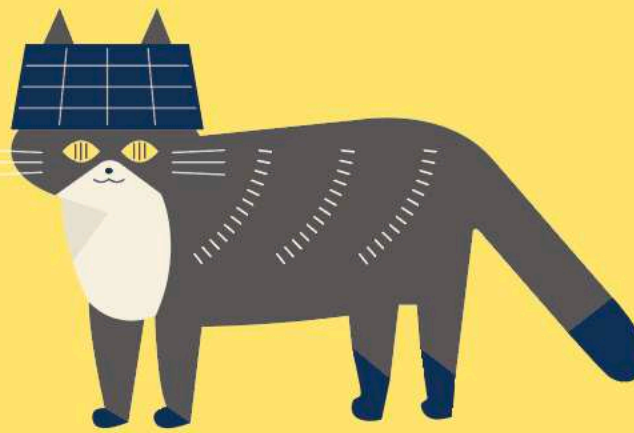




NOMACHI

金澤町家 巡遊2021 野町・寺町



KANAZAWA MACHIYA MAP

MACHIYA SHOP

- 1 **凧凧**
増泉1-16-17 090-4325-6775
リサイクル着物などを販売する和カフェ。
- 2 **甘納豆かわむら**
野町2-24-7 076-282-7000
甘納豆店。ティーサロンや最中の店も併設。
- 3 **中初商店**
野町1-3-58 076-241-4056
1896年創業の醤油と味噌の老舗。自然酒も。
- 4 **ギャラリー 日色 (Hiro)**
野町3-16-2 076-205-6119
井桁格子のギャラリー。会期中のみオープン。
- 5 **町家salon&stay 初華 ui-ca**
野町3-17-1 090-2839-5770
1892年に建てられた元紙店のゲストハウス。
- 6 **今川酢造**
野町3-19-1 076-241-4020
1923年創業の酢の醸造元。ギャラリーも併設。
- 7 **太一坊**
野町3-19-6 076-241-1388
築約100年の町家を改装した料理店。ランチも。
- 8 **四十萬谷本舗**
弥生1-17-28 076-241-4173
創業1875年。かぶらずしなど、発酵食品の老舗。
- 9 **乗越**
寺町2-3-14 080-3207-8020
築100年以上の町家を改装したカフェ。雑貨も。
- 10 **cuore mariko**
寺町3-9-47 076-280-6121
小早川眞理子のアトリエ兼ギャラリー。体験可。
- 11 **花鳥風月**
寺町3-2-28 076-241-5612
明治の雰囲気を残した町家。1日1組の宿。

旧街道を歩く

野町の大通り、旧北国街道は京へ江戸へと向かう街道のひとつで、北陸道とも呼ばれていました。もう少し細い旧鶴来街道は金沢城の城下町と白山街道とも言われます。醤油や味噌、お餅にかぶらずしなど、伝統発酵食品の老舗もちらほら。免疫力を上げたい今日この頃、町家とともに発酵食にふれながら、土地の歴史を感じながら、楽しく街を歩きましょう。

宝暦の大火
1759年玉懸寺の塔頭・舞昌寺から出火。城下町で1万軒以上を焼失。六斗焼け。1871年沼田町安立寺から出火し、271戸が焼失、玉泉寺も燃えた...



まちのり
複数のサイクルポートのどこでも借りられて、どこでも返せる公共シェアサイクルサービス。電動アシスト自転車なので坂道もスイスイ！

金澤町家研究会事務局
〒920-0854 金沢市安江町4-20 ☎076-254-0647
書籍「金澤町家-改修と活用-」発売中

ルート1 中初商店・まさこさんのお散歩コース



旧北国街道から旧鶴来街道へ抜ける小路▶願念寺さん▶本長寺さん▶谷口吉郎・吉生記念金沢建築館▶犀川沿い▶貝割坂▶クッピさんでおやつ買う▶蛤坂▶成学寺さん▶瓶割坂▶雨宝院▶室生犀星記念館▶神明宮裏石垣▶神明宮裏から境内へ▶にし茶屋街▶ノノママさんでおやつ食べる

【親子の思い出散歩道】
旧北国街道から一步入り、願念寺さんの前を通って旧鶴来街道に抜けるこの小路が好きです。昔の面影を残すこの小路は、足を進めるにつれタイムスリップしたような気持ちになり、一気に気分をリセットできます。美しい石垣が左右に並び、近所に住む猫がふらふら遊んでいたりと、暖かい日には石垣でとかが日向ぼっこしていたり、秋には落ち葉をかかささと鳴らしながら歩くのも楽しく。ベビーカーを押しながら、子供の手を引きながら歩いた思い出の散歩道です。

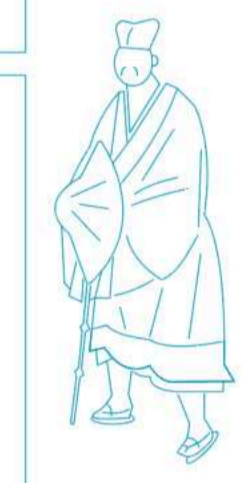


【建築館の水庭から犀川へ】
寺町通りを渡り、谷口吉郎・吉生記念金沢建築館へ。建築館の水庭が最近のお気に入りです。風や光や空や木々の様子によって毎日姿を変える水面。今日は美しいだろうと感じた時には入館することになっています。無料ゾーンの建物横の階段を降りていくと一気に犀川沿いの景色が広がりと心が解放されます。モリス教会とのコントラストも素敵。金沢は本当に良いところだとしみじみ感じます。



【坂を上ってKUPPIのおやつ】
犀川沿いを歩いた後は山錦楼さん裏の貝割坂を上がり、カフェKUPPIさんでおやつを購入、蛤坂を上がる。風格ある山錦楼さんの建物を見上げながら成学寺さんへ。このお寺にも芭蕉の句碑があります。現在残っている芭蕉句碑の中で最も古いそう。「あかあかと日はつれなくも秋の風」(子供の頃学校で暗記させられた俳句)。門前の風神像がかわいい。寺町通りに到着。

【ふるさは遠さにありて思うもの。室生犀星を想う散歩道】
瓶割坂から室生犀星が養子として育てられた雨宝院に立ち寄った後、犀星の生家跡に立つ室生犀星記念館へ。企画展が毎回面白い。時間があれば何時間でもここで過ごしたいくらい落ち着いた場所。少し戻って、雨宝院正面の道を入り神明宮の裏側へ。高い石垣や苔むした石の階段等が残り不思議な雰囲気を通り。知らない路地に迷い込むのも楽しい。神明宮裏口から樹齢千年を超える大ケヤキが鎮座する境内で氏神様にご挨拶。この境内で犀星も中原中也将も遊んだのだと想像するとワクワクする。境内に入らず大蓮寺さんの裏を通って大通りに出るのも良い。高い石垣の道は抜けるとにし茶屋街へ。甘納豆かわむらさんのmameノノママでおやつを食べて素敵な苔の庭を見ながら一服。



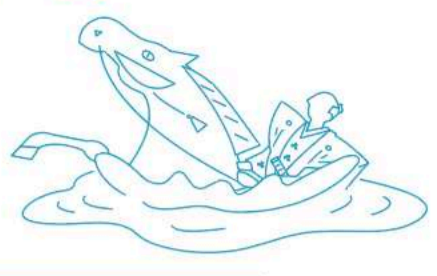
【本長寺さんのヒキガエルの像】
妙立寺さんの裏門を見ながら、近年フードドライブに取り組まれている弘願院さんの前を通り旧鶴来街道へ。妙立寺さんの表門を通り、承証寺さんのこれまた美しい石垣や長い塀を堪能しながら、目指すは本長寺さんのヒキガエルの像。「雨の夜はヒキガエルに注意」という立て看板が好き過ぎて梅雨時には特に気になる場所。晴れの日も、前を通る時には必ずご挨拶。親子でカエル好きなので本長寺さんは子供が小さいころのお散歩コースのメインでした。季節ごとのお庭も綺麗です。このお寺にも芭蕉の句碑あり。



ルート2 ギャラリー日色・中村さんの江戸な野町コース



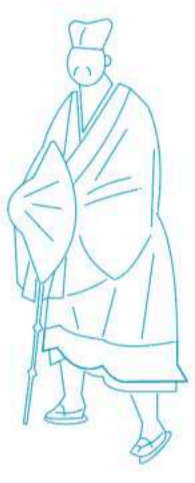
お寺や神社、坂などを散歩。どこから始めても。一軒づつでも。町家を改修するにあたり、近隣の歴史をいろいろと調べました。日色の裏には江戸時代と同じ幅の細い路地があり、建物には火事で炭化した柱が見つかるなど、江戸の名残が感じられます。



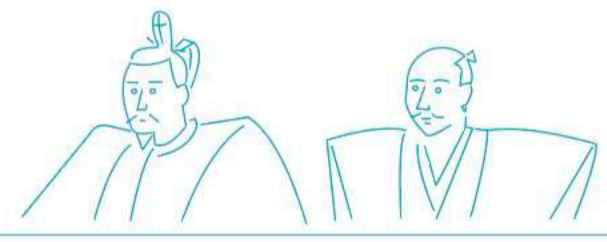
【妙立寺(忍者寺)】
1650年代に今の場所に移築された妙立寺。なぜか延宝年間(1673~1681)の古地図では「足軽屋敷」になってるんです。防衛のための拠点だったので、江戸初期~中期にかけては意図的に記載しなかった可能性もありますね。妙立寺が古地図で確認できるのは江戸後期(安政)の古地図回廊から。正面は元々、今の裏門(願念寺さん側)だったのですが、当時のお寺は人が集まる場所だったので、道幅が広い旧鶴来街道側にしたようです。今の正門は兼六園にあった竹沢御殿の正門を移築したものの。



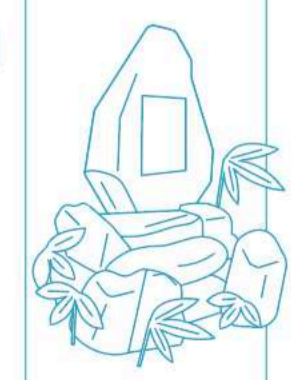
【三光寺・国泰寺】
三光寺は、大久保利通が暗殺された紀尾井坂の変(1878年)の首謀者、旧加賀藩士・島田一郎率いる一派(三光寺派)が会合をしていたお寺です。山門に彫ってある仁王像は住職さんが制作したという話を聞いたことがありますが、真偽はわかりません。ぜひ尋ねてみてください。国泰寺には、タカジアスターゼ、アドレナリンを発見した高峰譲吉のお墓があります。金沢では誰もが知る偉人ですが、県外の人からは「何した人?」と聞かれることが多いです。



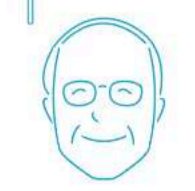
【泉野菅原神社】
菅原道真公と織田信長公を祀る神社。日本で最初に信長公を祀った神社とされています。二代藩主・利長公の正室は、信長公の四女・永姫(玉泉院)で、江戸時代に信長公を公に祀ることは憚られたため内緒だったのででしょうか。2000年に拝殿・本殿を焼失。今の拝殿は2012年に地元の氏子さんの努力によって再建されたものです。



【三問道】
国道沿いの川北病院から六斗広見に至る道は「三問道」と呼ばれています。蛤坂が土砂崩れで通行止めとなっていた期間は、六斗広見で幕府巡検使を迎え、三問道を通って北園街道に出て、城下に向かうルートでした。当時、東海道の主街道は5間幅、小街道は3間幅でした。小街道でもない道が3間幅を有しているのはこのためです。三問道沿いには、諸江屋さんや米永仏壇店さん所有の町家もあります。

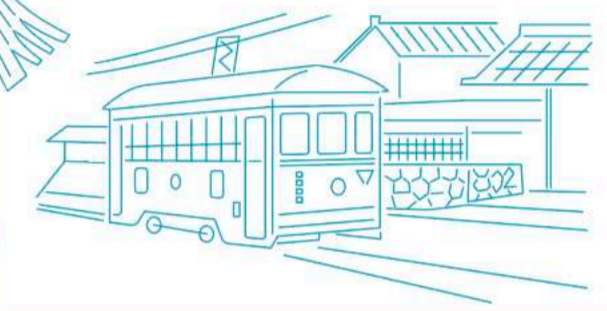


ルート3 むとう設計・武藤さんの昭和を感じる寺町コース

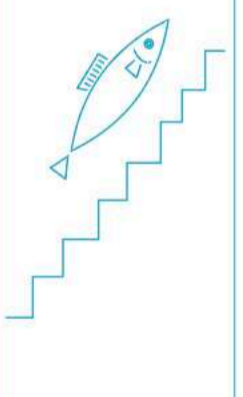
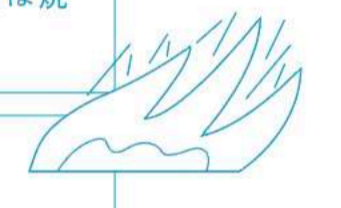


八阪神社跡▶甚兵衛坂から犀川へ▶W坂▶寺町通りから笹下町▶願念寺昭和6年の地図を見ると、ルート沿いに電車の停留所が4つあります。

【八阪神社跡】
蛤坂交差点入口にあった八阪神社は2018年末に神を移して神社としての役割を終え、建物は損傷が著しいため最近解体された。赤戸室石でできた小ぶりな鳥居から参道奥にある建物を通りすがりに眺めた記憶のある方も多いはず。京都の祇園社(現八阪神社)から神を迎えて誕生したという由来があり祇園社とも呼ばれ、路面電車の停留所「祇園前」がかつてここにあった。



【甚兵衛坂から犀川へ】
つば基の脇を通り犀川縁地につながる私設階段。冷蔵庫の無い時代、階段下にあったつば基の大きな池から川魚を料亭へ運ぶためと、上に住む近在の人の便宜をはかるため銚屋甚兵衛さんが作った有難い階段である。寺町台地の住人にとって、犀川は眺めるだけでなく実用的な川でもあった。そのため、地元の人しか知らない階段はこの他にもあったが、現在利用されているなかの貴重な一つ。大通りからの入口は狭いので気を付けないと通り過ぎるかも。
犀川左岸沿いに遡る道は車の往来もあって、ゆったりとした河川敷のほうに安全。犀川の清らかな流れと、前方に戸室山、医王山を望む景色も楽しみたい。



【本覚坂・大林区坂】
旧鶴来街道は今川酢造さん辺りから緩やかなり坂になっていますが、本覚寺に因んで「本覚坂」というようです。元はもっと急な坂だったらしいのですが、明治37年に軍人が馬ごと沼田川(現在は暗渠化)に落ちたため、なだらかにされたようです。本覚坂を上った辺りの小径を右折するとある緩やかな下り坂が「大林区坂」。大林区とは現在の林野庁です。この辺りの旧町名は「桃島町」で桃畑が広がっていたようです。

【宝曆の大火】
宝曆の大火は宝曆9年(1759年)、玉龍寺の塔頭・舜昌寺(現ギャラリー日色前の駐車場の奥辺り)から出火。城下町で1万軒以上を焼失、金沢城内でも本丸・二ノ丸・三ノ丸などの主要部が全焼した。玉泉寺には延焼していないが、玉泉寺東門前は延焼しているので現ギャラリー日色の場所は焼けたようです。

【六斗焼け】
六斗焼けは明治4年(1871年)、沼田町安立寺から出火し、271戸が焼失、玉泉寺も焼失した火事です。この時、近くの月照寺の本堂は全焼しましたが、山門は被害はなかったようです。玉龍寺も被災を逃れたので、飛び火で虫食いのように被害が広がったと想像。江戸末期の建物と言われる日色の町家は、改修中に外側が炭化した柱が見つかったため、ギリギリで被災を逃れた模様。玉泉寺は国宝でもある高岡市の瑞龍寺や羽咋の気多大社と同じく、山上善右衛門が手掛けたとされる大伽藍のお寺だったので惜しいです。

金澤町家巡遊 2021 発酵街道

10月16日(土)・17日(日) 10時~16時(※会場によって異なります) 金沢の旧街道の町家で発酵を感じる2日間。

- 凍凍 リサイクル着物も買える和カフェ。13:00-18:00
- 甘納豆かわむら 併設の最中店・mameノノママで、限定の発酵スイーツをご提供いたします。
- TEA BASE 白澤 ふだんは完全予約制のお茶室を見学できます。にし茶屋街そばの路地にあります。
- 中初商店 吹き抜けと地下室を見学できます。味噌・醤油・梅干しなどの他、自然派のお酒も。
- 西玖 SAIK ふだんは宿泊者のみ利用できるカフェを特別に開放。珈琲や紅茶を注文できます。
- ギャラリー日色 蕨まいこ展「thinking while walking」。10/31まで。11:00-18:00、木曜定休。

- 初華 ui-ca 10/17(日)11:00-16:00、元紙店の町家ゲストハウスを見学できます。発酵おやつも?
- 今川酢造 老舗酢造をちらりと覗けます。蔵ギャラリーでは「布との出会い、糸との出会い」展開催。
- 太一坊 10/16(土)のみ、限定の発酵弁当を販売。前日17:00までに電話予約。076-241-1388
- カナモノアトリエ 金沢作家・西川美穂さんのアトリエを見学できます。15:00まで。通常は完全予約制。
- 四十萬谷本舗 店舗奥の吹き抜けも見学できます。しじまジェラートは漬物味も! 喫茶もできます。
- 寺町commons 発酵や町家、建物やまちにまつわる新書と古本を販売。普段は時々開放しているスペースです。
- 花鳥風月 明治の町家を改修した一棟貸の宿を見学できます。土間では高木靴商店の発酵食品を購入できます。
- 坂の上ペーカー 今川酢造さんとのコラボサンドを限定販売。10:00から販売、売り切れ次第終了。15:00閉店。
- 乗越 発酵食品のひとつ、チーズを使った限定サンドウィッチや台湾茶をいただけます。

cheese **味噌** **酢** **醤油**

発酵にまつわる町家SHOPは、他にも東山の高木靴商店や本江織造食品、材木町の森長、尾張町のアラファエルム・ドゥッサンジロウ1Fのワイナリー、長町のひらみはん、大野のヤマト醤油味噌、直江屋源兵衛などもございますので、ぜひ訪ねてください。